



好学愛知 自律敬愛 質実剛健

鶴丸イ言

鹿児島県立鶴丸高等学校

〒890-8502 鹿児島市薬師二丁目1番1号

TEL 099-251-7387 FAX 099-255-3433

http://www.edupref.kagoshima.jp/sh/Tsurumaru/top.html

6月の行事予定

Calendar table for June with columns for date, event, and location. Includes events like '3年進研マーク', '中間考査', 'クリスマスツツ', and '学年朝会'.

国の脆弱さの憂いを失くすために

校長 小倉寛恒

今月初めに中国の四川省で起きた大地震は、実に痛ましいものであり、十三年前、我が国で起こった「阪神・淡路大震災」のことが思い出されてしまう。

中国は、当初、他国の人的支援を容易に受け入れようとはしなかったが、地震発生から三日目になってようやく日本の支援要員を最初に受け入れ、遅ればせながらの救助活動となった。

これまでも我が国が国際社会で得てきた信頼と評価には、他の追随を許さない科学技術の優位性もさることながら、国民の資質としての勤勉さと精神文化の高さなど、どの国にも劣らないものを誇ってきたところがある。

しかしながら、今ここにきて、我が国の国家としての力や、品位を保つ全ての要素において、一種の崩落現象が起きていることは、論証するまでもない。

と行っていくことが肝要であり、そのことが将来的には計り知れない有用な価値を産むことを忘れてはならない。

さらに、人として基本的な生活を営む上で、自らの教養となり、豊かな文化生活を送るために、美しい自然や芸術など、より多くのものを享受し、心の器を大きくして欲しい。

第三学年の遠征は、毎年恒例の千貫平登山であった。千貫平は山と称するに高度は今のひとつはあるが、北東方向に俯瞰できる桜島、さらには南の東シナ海と太平洋に続く錦江湾の雄大な景色を訪れる人々を爽快な気持ちにさせるとともに、限りなく大きなエネルギーを与えてくれる。

この魅力があるからこそ、毎年千貫平登山が第三学年の遠征の目的地として、不動のものになっているのであると思う。



二学年遠足

登山に先立ち、生見小学校でトイレ・給水の休憩をさせていただいた。全校あわせて50名弱の小規模校であるが、かつて中学校も併せて持っていた学校だけに校庭は広々としている。また今では数少ない芝生張りの校庭と中央に立つ楕円形の噴水がある。諸注意の後、施設を使わせていただき、その後、トイレ掃除を行った。今年が生見小学校側から新聞社へ取材依頼がしてあったので、新聞社の記者とカメラマンが、取材に訪れた。清掃係に当たっていた生徒たちのトイレ掃除の様子は新聞にも写真入りで掲載された。

前日までは雨の懸念もあったが、夜の間に上がり、雲が多少あるおかげで、格好の屋外活動日和となった。登山は1Rからのスタートとなり、約8kmの登山道を楽しみながら互いに励まし合って登ったおかげで、予定より早く千貫平に到着できた。昼食を食べ、クラスメイトや気のあった者同士でのレクリエーションは、活気を帯び公園は鶴丸生たちのさわやかな声で満ちあふれた。

レクリエーションが一段落すると、遠征のメインイベントとも言える、「決意表明」の儀式である。下田隆史君の挨拶に続き、小倉寛恒校長から激励の言葉をいただいた。締めくくりは応援団の登場である。太鼓の響きに合わせ大山雅弘団長を先頭に応援団が入場した。式は最高潮に達し、自然とウエーブが起こり、心を一つにエネルギーを送り合い、一呼吸置いて東の錦江湾と大隅の山々の上に広がる大空に向かい、「勝利の山」で目標達成を誓い合った。

締めくくりは千貫平の清掃である。「来た時よりも美しく」という気持ちで一生懸命に全員で取り組んだ。帰りのバスの中は、担任・副担任の先生方を交えて大いに盛り上がったこととは言うまでもない。

二学年遠足

二年生は新クラスでの交流をはかすべく吹上浜海浜公園に行った。朝は風がかなり強く少し肌寒く感じたり、日中は非常に暖かい遠足日和となった。吹上浜に着し、最初はクラス毎に分かれてのレクリエーションが行われた。ドッジボールをしたり、鬼ごっこをしたりとそれぞれクラスでの親睦がはかれたようだ。昼食後は、昨年に引き続きクラス対抗綱引きを行った。先生方による綱引きのレクチャーを受けた後、対戦相手を選定し、実施した。午前中のレクリエーションの後というところもあって、クラスが一つにまとまるといって声かけ合い、一丸となって綱を引いている姿が印象的だった。結果、2Rが緊迫した接戦を勝ち抜き優勝した。

今回の一日遠足においては、バスの車内でのレクリエーションも含め、クラスマッチを深める良い機会となった。クラスマッチの活動を期待したい。

一年生は、友人たちとの交流を深めながら、平和の尊厳と、知覧特攻平和会館と武家屋敷に行きた。幸い天気にも恵まれ、全行程を予定通り終えることが出来た。平和会館では約30分の講話の後、館内を見学した。国を思い、父母を思い死んでいった同じ年代の特攻隊員の手記を熱心に読んでいた生徒。また、武家屋敷ではクラス

一年生は、友人たちとの交流を深めながら、平和の尊厳と、知覧特攻平和会館と武家屋敷に行きた。幸い天気にも恵まれ、全行程を予定通り終えることが出来た。平和会館では約30分の講話の後、館内を見学した。国を思い、父母を思い死んでいった同じ年代の特攻隊員の手記を熱心に読んでいた生徒。また、武家屋敷ではクラス

毎にボランティアガイドがつき、石垣や門構による身分差、男女関・女玄関にみられる男女差など、郷土の歴史を知ることができた。なお、手前味噌で恐縮だが、ガイドさんからは鶴丸生の聞く態度を褒めて頂いた。

五月十三日PTA総会が開かれ、前年度会務報告及び決算報告、今年度事業計画案及び予算案、新役員を選出などについての協議が行われすべし承認された。

PTA総会

学校の現況報告では、保護者による学校評価の分析と学校としての対応や携帯電話を子どもに持たせる際の留意事項について説明があった。その後、PTA会長の大役を二年間引き受けてくださった、今回退任された村山英樹さんに感謝の意を表して感謝状と記念品が贈呈された。新たに選出された役員は次の通り

三年生集団読書

五月二十一日(月)、三年生の集団読書会が行われた。今回の対象作品は宮城谷昌光の「花の歳月」で、卒業生たちからも好評であった作品である。各クラスの委員長、副委員長が中心となり実施計画案を準備し、当日に備えた甲斐があり、それぞれのクラスで有意義な読書会となったようである。ある生徒の読書感想文の一部を紹介する。

二期一会という言葉があるように、自分が今の家に生まれてきたことや、これまでの人生での数々の出会い、どれもまさに奇跡と言える人との絆ばかりだ。私たちは、もっとその出会いに感謝し、その中で生かされていると自覚すべきだ。」

